intra-mart WebPlatform/AppFramework
Ver.7.0

ポータル グループ管理者 操作ガイド

2012/03/26 第6版

❖ 変更履歴

変更年月日	変更内容
2008/07/07	初版
2008/08/22	第2版 リンク集の表示設定に注意事項を追加（1．7）
2009/02/27	第3版 キャッシュ設定に関する注意事項を追加（1．3．2） ポータル画面に全て最小化機能を追加 （1．4．1、 1．5．1）
2009/06/30	第4版 Strutsをポートレットとして登録する場合の注意事項を追加（1．3．2）
2010/11/30	第5版 本文内の誤植を修正（1．3．2、 1．3．3．1、 1．4．2．4、 1．4．3．1、 1．7．1）
2012/03/26	第6版 以下の画面キャプチャを修正しました。 「1.2.1 グローバルポータル」 「1.5.1 グローバルポータルの管理」 「1.5.3 ポータルの編集」 「1.5.3.3 ポータルの設定変更」 「1.5.3.4 ポータルの削除」

Contents

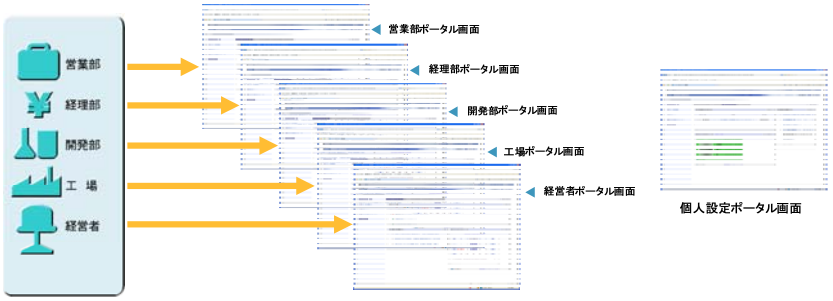
第1章　ポータル設定と操作	1
ポータルについて	2
ポータルの種類と作成メニュー	4
1.2.1 グローバルポータル	4
1.2.2 intra-martホーム画面に表示されるポータル	5
ポートレット管理	6
1.3.1 ポートレット用ページの作成	6
1.3.2 ポートレット新規登録	7
1.3.3 ポートレットアクセス権の設定	11
1.3.4 ポートレット編集	14
1.3.5 ポートレット削除	15
グループポータル管理	16
1.4.1 グループポータルの管理	16
1.4.2 画面上の操作	20
1.4.3 ポータルの編集	23
1.4.4 アクセス権の設定	29
グローバルポータル	30
1.5.1 グローバルポータルの管理	30
1.5.2 画面上の操作	31
1.5.3 ポータルの編集	32
ポートレットの利用	35
1.6.1 ポートレットのエラーについて	36
1.6.2 Googleガジェットポートレット	37
1.6.3 リンク集ポートレット	39
1.6.4 メニューリンクポートレット	39
リンク集の作成	40
1.7.1 リンク集の作成	40
1.7.2 簡易SSOパラメータ設定	42
メニューリンクの作成	43

intra-mart WebPlatform/AppFramework

第1章　ポータル設定と操作

1.1 ポータルについて

intra-martには、ログイン初期画面（intra-martホーム画面）にあらかじめ用意したページ（ポータルアプリケーションでは、ポートレットと呼びます）をいくつかサブウィンドウとして表示し、ユーザに情報を見るように喚起させることができる機能が標準で用意されています（ポートレットを表示する画面をポータル画面と呼びます）。このポータル機能は、intra-martのポータルモジュールで実現されています。

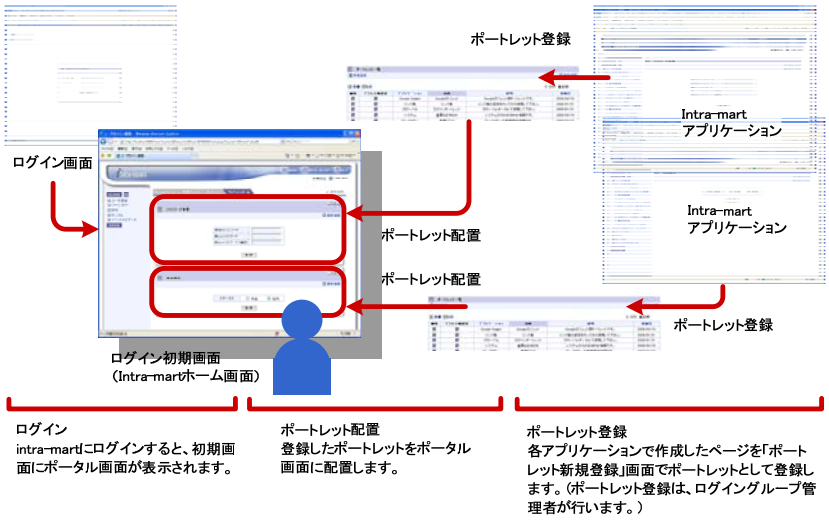


組織部署単位にポータルサイトを設定したり、個人単位の設定をすることで、組織内での情報伝達のスピードアップが図れます。

会社（顧客、取引先）単位にポータルサイトを設定することにより、
ECサイトやマーケットプレイスにおいて、サービスレベルを大きく向上させることができます。

〈会社・組織、ユーザごとのポータル〉

intra-mart上のアプリケーションごとに表示させたい情報のページを作成し、ポートレット管理機能を利用して登録することによって、ポートレットとして利用することができるようになります。
このようにして作成したポートレットは、ポータル画面上に自由にレイアウトして利用することができます。また、intra-mart上のアプリケーションだけでなく、Javaの標準であるJavaポートレット（*）もポートレットとして登録し利用することが可能です。



- Javaポートレットは、標準化団体 Java Community Process(JCP) において策定された、「Java Specification Request #168(JSR168)」に従って作成されたポートレットを指します。
  このポートレットはWebアプリケーションの一種として作成され、WARファイルの形で提供されます。

Column

全ポートレットの最小化機能

ポータル画面の右上のコマンドボタンに「全て最小化」ボタンが追加されました。
機能の詳細については、「1.4.1グループポータルの管理」を参照してください。
また、これに伴ってタブの領域を広くするために「最新表示」コマンドのリンクがアイコンのみの表示に変更されました。
本ドキュメント内で利用されているポータル画面の画像では、機能の追加以前の画像が表示されている場合がありますが、お使いのintra-martの最新の画面を参照するようにしてください。

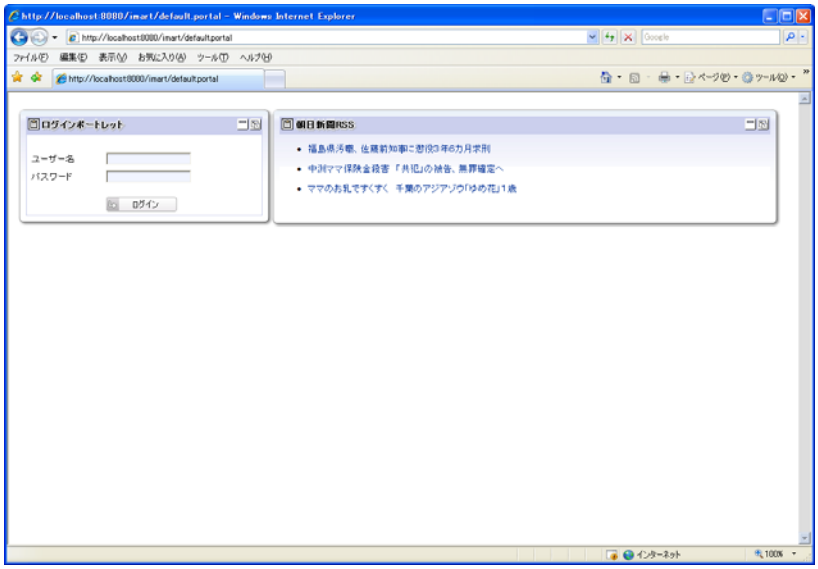
1.2 ポータルの種類と作成メニュー

intra-martに用意されているポータル画面には、次の表のような３種類が用意されています。
これらのポータルの主な違いは、表示させるユーザの範囲の違いで、ログイングループ全員に見せるものから、自分だけのポータルまで用意されています。さらに、アクセス権限を設定することで、特定のユーザの画面にだけ表示させることも可能です。また、グローバルポータル以外のポータルは、複数作成することができます。

ポータルの種類	表示される場所	作成者	基本表示範囲	アクセス権の設定
グローバルポータル	ログイン前の画面	ログイングループ管理者	ログイングループ全員	なし
グループポータル	Intra-martのHOME画面（タブとして）	ログイングループ管理者	ログイングループ全員	会社-組織 パブリックグループ ロール
ユーザポータル	Intra-martのHOME画面（タブとして）	一般ユーザ 組織のポータル管理者	作成者自身	作成者が主所属の組織 配下の組織

1.2.1 グローバルポータル

グローバルポータルは、アクセス権限の設定もなく、ログイングループ全員に表示されるポータルです。このポータルはログイン画面に表示されるため、ログインするためのポートレットが用意されています。なお、グローバルポータルにはタブがありません。



<グローバルポータル>

1.2.2 intra-martホーム画面に表示されるポータル

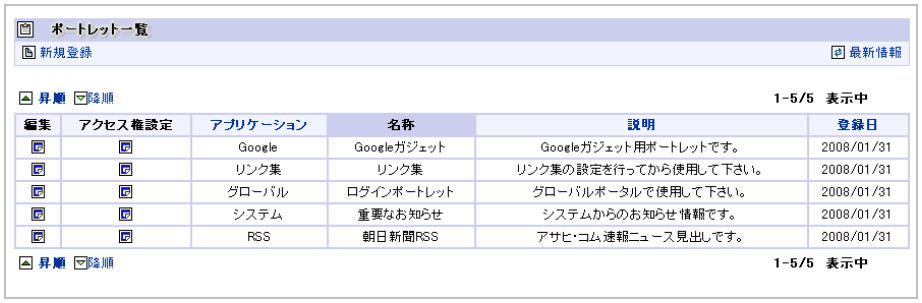
グループポータル、ユーザポータルは、ユーザのintra-martホーム画面に表示されます。各ポータルは、タブとして表示され、初期表示は、ログイングループ管理者が設定した順番で配置されて、一番左に配置されたタブが選択された状態で表示されます。
また、intra-martのどの画面にも、常に[HOME]ボタンが表示されていて、クリックするだけでホーム画面が表示されます。

〈ホーム画面〉

- このドキュメント内の図に表示されている「朝日新聞RSS」ポートレットは、RSSポートレットのサンプルです。表示されている内容は正確な情報ではありませんので、ご注意ください。

1.3 ポートレット管理

ポートレット用に作成したページをポートレットとして登録します。登録されているポートレットの一覧を表示するには、メニューから［ポータル］-［ポートレット］を選択します。
一覧画面から、新規登録、編集、削除などの操作が行えます。



<登録されているポートレットの一覧>

intra-martには、標準でそのまま利用可能なポートレットがいくつか用意されています。
用意されているポートレットについては、「1.6 ポートレットの利用」を参照してください。

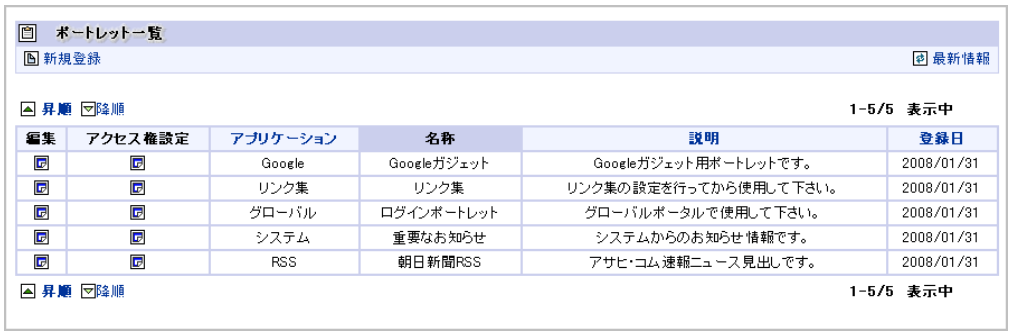
1.3.1 ポートレット用ページの作成

スクリプト開発モデルおよびJavaEE開発モデル、フレームワーク開発モデル、外部URLでポータル画面に表示させたいページをポートレット用に作成します。なお、intra-martには、あらかじめサンプルのポートレット用のページが用意されています。

- ポータルとして表示させたい画面は、通常の画面ではなく、ポータルモジュールの規約にともない変更する必要があります。ポータル用のページ作成方法については、「intra-mart WebPlatform/AppFramework ポートレットプログラミングガイド」を参照してください。

1.3.2 ポートレット新規登録

1 一覧画面の左上部にある[新規登録]アイコンをクリックします。



<ポートレット一覧画面>

2 表示された画面で、ポートレットの情報を登録して、[登録]ボタンをクリックします。

<ポートレット新規登録画面>

❖ 基本設定

ロケール	ポートレットを作成する時は、登録されているロケールごとに(国際)マークの項目を登録しなければなりません。 ここで、まずは、これから登録する国際化対象の項目のロケールを選択します。
アプリケーション(国際)	ポートレットのもとになるアプリケーション名を入力します。
名称(必須)(国際)	ポートレットの名称を入力します。この名称がポータルのポートレットタイトルとして表示されます。
ページ種別(必須)	ポートレットの種類を次の中から選択します。 **Presentation Page** スクリプト開発モデルで作成した場合に選択します。 **Servlet/JSP** JavaEEでページを作成しているが、im-JavaEE Frameworkを利用

	していない場合に選択します。 **im-JavaEE Service Framework** im-JavaEE Frameworkを利用して作成した場合に選択します。 **Internet**: Webサイトの場合に選択します。 **メニューリンク** intra-martのメニューを表示するポートレットの場合に選択します。 メニューリンクについては「1.8 メニューリンクの作成」を参照してください。 **RSS** RSSポートレットの場合に選択します。 **ポートレットアプリケーション** Javaポートレットを選択する場合に選択します。
画面パスあるいはURL種類(必須)	ポートレットが存在するパスまたはURLを入力します。 この項目は、「ページ種別」で次の項目が選択されている場合に表示されます。 「Presentation Page」、「Servlet/JSP」、「Internet」 注意:「Presentation Page」、「Servlet/JSP」の場合は、先頭に「/」を記述してください。また、「Presentation Page」の場合は拡張子(jssp)は省略します。 例)/system/setting/user/password/main
ページ引数	登録するページに引数がある場合に指定します。 この項目は、「ページ種別」で次の項目が選択されている場合に表示されます。 「Presentation Page」、「Servlet/JSP」、「Internet」、「im-JavaEE Service Framework」
アプリケーションID(必須)	アプリケーションIDを入力します。 この項目は、「ページ種別」で「im-JavaEE Service Framework」が選択されている場合に表示されます。
サービスID(必須)	サービスIDを入力します。 この項目は、「ページ種別」で「im-JavaEE Service Framework」が選択されている場合に表示されます。
メニューリンクセット	メニューリンクセットを選択します。 この項目は、「ページ種別」で「メニューリンク」が選択されている場合に表示されます。
RSSのURL(必須)	RSSのURLを入力します。 この項目は、「ページ種別」で「RSS」が選択されている場合に表示されます。

Proxyホスト名

プロキシサーバを経由してインターネットに接続する環境の場合、プロキシホスト名を入力します。

この項目は、「ページ種別」で「RSS」が選択されている場合に表示されます。

Proxyポート番号

プロキシサーバを経由してインターネットに接続する環境の場合、プロキシポート番号を入力します。

この項目は、「ページ種別」で「RSS」が選択されている場合に表示されます。

パーサー

リンク先のRSSがRSS1.0かRSS2.0か選択します。

この項目は、「ページ種別」で「RSS」が選択されている場合に表示されます。

ポートレット名（必須）

[検索]アイコンを押下して表示される[ポートレット検索結果画面]から、intra-martに登録されているポートレットアプリケーションを選択します。

この項目は、「ページ種別」で「ポートレットアプリケーション」が選択されている場合に表示されます。

ポートレット検索結果画面

システム管理者により登録されたポートレットアプリケーションが一覧表示されます。

❖ オプション設定

タイトルの表示	ポートレットのタイトルの表示を「使用する」、「使用しない」を選択します。
公開フラグ	ポートレットの「公開」、「非公開」を選択します。 「非公開」を選択するとポートレット追加一覧画面に表示されなくなり、ポートレットの追加が出来なくなります。
キャッシュの設定	ポートレットの表示内容をサーバ内にキャッシュする場合のキャッシュ時間を選択します。 「無制限」を選択すると常にキャッシュを利用します。
ポートレットの説明(国際)	ポートレットの説明を入力します。
表示先ポータル種別	ポートレットを配置可能なポータル種別を「ユーザポータル」、「グループポータル」、「グローバルポータル」から選択します。 選択したポータル種別以外では、ポートレット追加一覧画面に表示されなくなり、ポートレットの追加が出来なくなります。

● **Strutsで作成したページをポートレットに登録するには**

StrutsはWebアプリケーション用のフレームワークですので、ポートレットで利用するためには適しておりません。
ほとんどの場合、そのままポートレットに表示することはできませんので、ポートレット用に修正する必要があります。
詳細は、「ポートレット プログラミングガイド」を参照してください。
修正したページをポートレットに登録する場合、JSPで作成したページと同様に登録します。
下記の例を参考にしてください。

例） ページの種類 [Servlet/JSP]
パスあるいはURL /struts_test/menu_to_seller_list.do

ポートレットのキャッシュ機能

キャッシュ機能を利用すると、サーバ内に作成されたキャッシュ情報が読み込まれるため、ポートレットの表示が高速になります。
ポータルに表示する各ポートレットごとにキャッシュの設定を行うことができます。

● キャッシュ機能を利用したポートレットで、カラーパターンを指定している場合、カラーパターンの変更が反映されない場合があります。
ポータル画面で、カラーパターンの変更が反映されなかった場合、「最新情報」ボタンをクリックして、キャッシュをクリアして再表示するようにして下さい。

1.3.3 ポートレットアクセス権の設定

公開フラグが設定されているポートレットは、全ログイングループのユーザにポータルが公開されますが、ポートレット登録後に、組織・役職、パブリックグループ、ロールなどのアクセス権限を設定することにより表示範囲を任意に制限することができます。

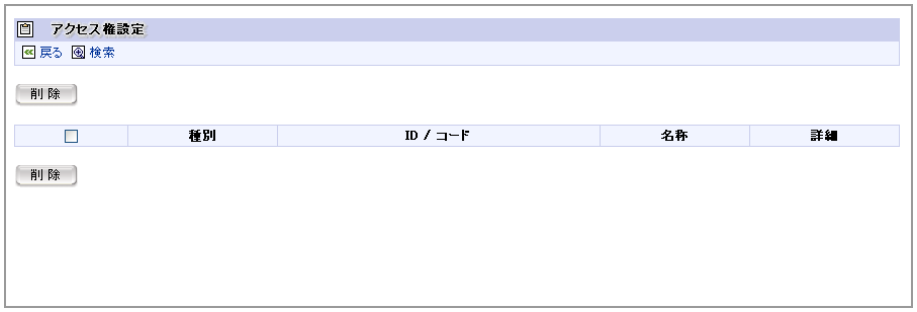
ポートレットにアクセス権を設定するには、ポートレット一覧画面で対象のポートレットの［アクセス権設定］のアイコンをクリックします。

<ポートレット一覧画面>

1.3.3.1 アクセス権の登録

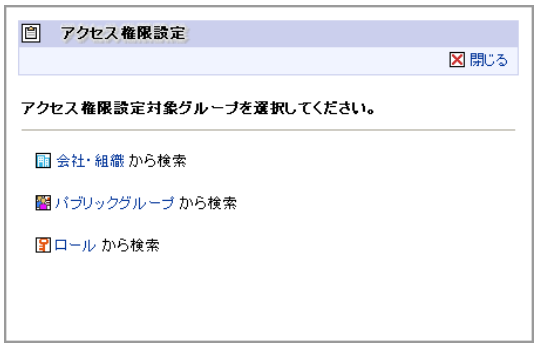
アクセス権設定画面より、アクセス権の登録を行います。

1 コンテキストメニューからアクセス権設定をクリックすると、アクセス権設定画面が表示されます。ここで、[検索]をクリックします。



<アクセス権設定画面>

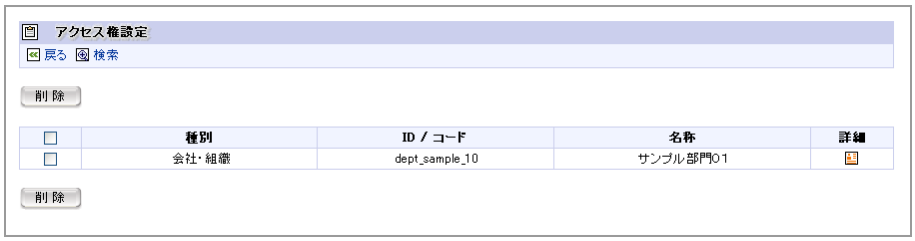
2 表示されたアクセス権限設定画面で、アクセス設定の対象グループを選択し、アクセス権限を設定していきます。



<アクセス権限設定画面>

会社・組織から検索	あらかじめ設定されている組織から、アクセス権を設定する会社・組織を選択して権限を与えます。
パブリックグループから検索	あらかじめ設定されているパブリックグループから、アクセス権を設定するパブリックグループを選択して権限を与えます。
ロールから検索	あらかじめ設定されているロールから、アクセス権を設定するロールを選択して権限を与えます。

3 アクセス権限を登録すると、設定した情報がアクセス権設定画面に表示されます。



<アクセス権登録後の画面>

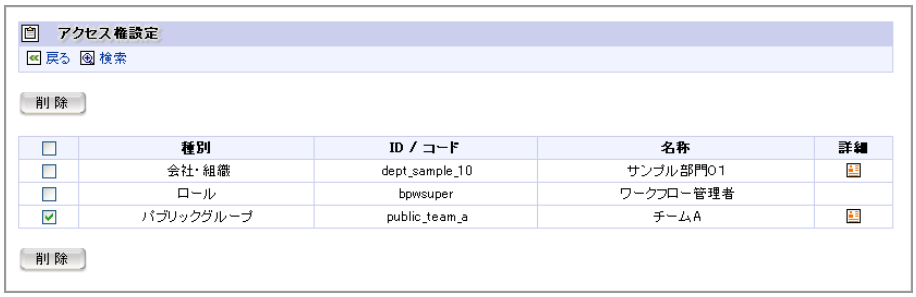
［詳細］アイコンをクリックして表示される詳細設定画面にて、さらに詳細な設定が行えます。

会社・組織から検索	以下の設定が行えます 1. 配下組織を含む、含まないの選択。 2. ロールや役職による絞り込み。
パブリックグループから検索	以下の設定が行えます 1. 配下組織を含む、含まないの選択。 2. ロールによる絞り込み。
ロールから検索	（詳細な設定はありません）

1.3.3.2 アクセス権の削除

アクセス権設定画面より、アクセス権の削除を行います。

1 コンテキストメニューの、アクセス権設定をクリックして表示されるアクセス権設定画面の一覧から、削除するアクセス設定を選択します。

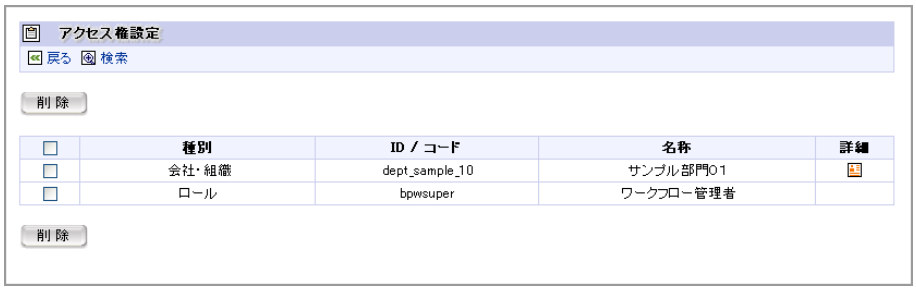


<アクセス権設定画面>

2 [削除]ボタンをクリックすると、確認用のウィンドウが表示されますので、[OK]をクリックします。

<アクセス権の削除>

3 選択した対象グループが削除されます。

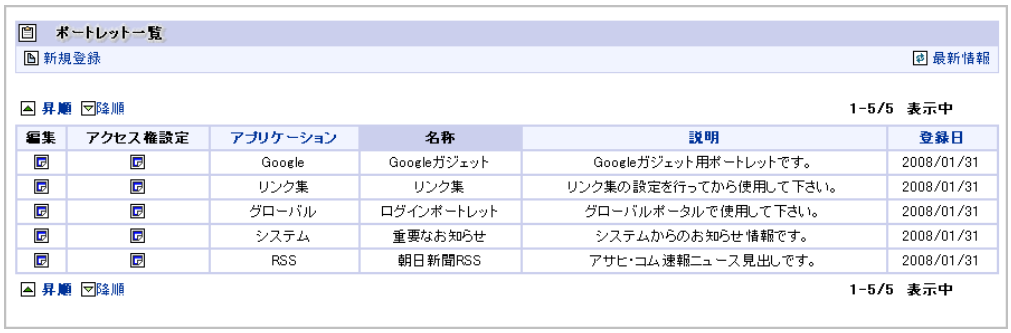


<アクセス権削除後の画面>

- ポートレットにアクセス権を設定しておくと、設定したアクセス権を持つユーザのポートレット追加画面にだけ表示されるようになります。ポートレットのアクセス権を設定しない場合、全ユーザに表示されます。
- 公開されたグループポータルなどに配置されたポートレットは、アクセス権が無くても表示されます。

1.3.4 ポートレット編集

1 更新するポートレットの左にある[編集]アイコンをクリックします。

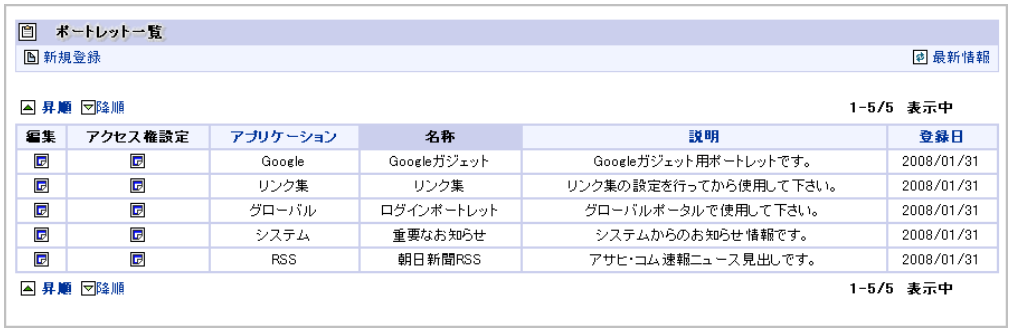


<ポートレット一覧画面>

2 表示された画面で、更新するポートレットの情報を入力して、[更新]ボタンをクリックします。

<ポートレット編集画面>

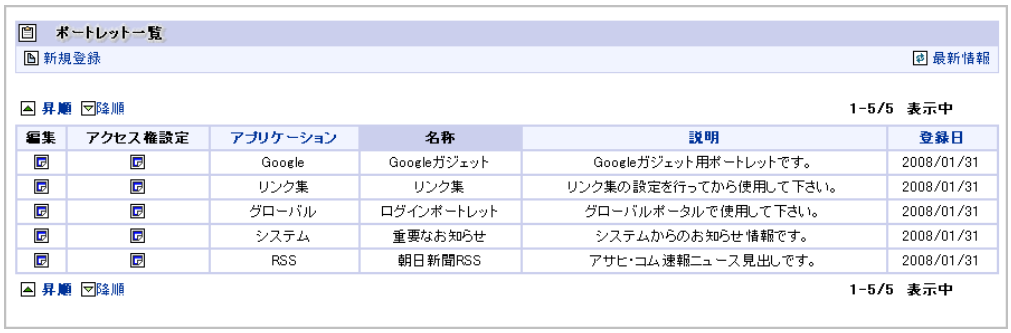
3 更新処理が終わるとポートレット一覧画面に戻ります。



<更新されているポートレットの一覧>

1.3.5 ポートレット削除

1 削除するポートレットの左にある[編集]アイコンをクリックします。



<ポートレット一覧画面>

2 表示された画面で、削除するポートレットの情報を確認して、[削除]ボタンをクリックします。

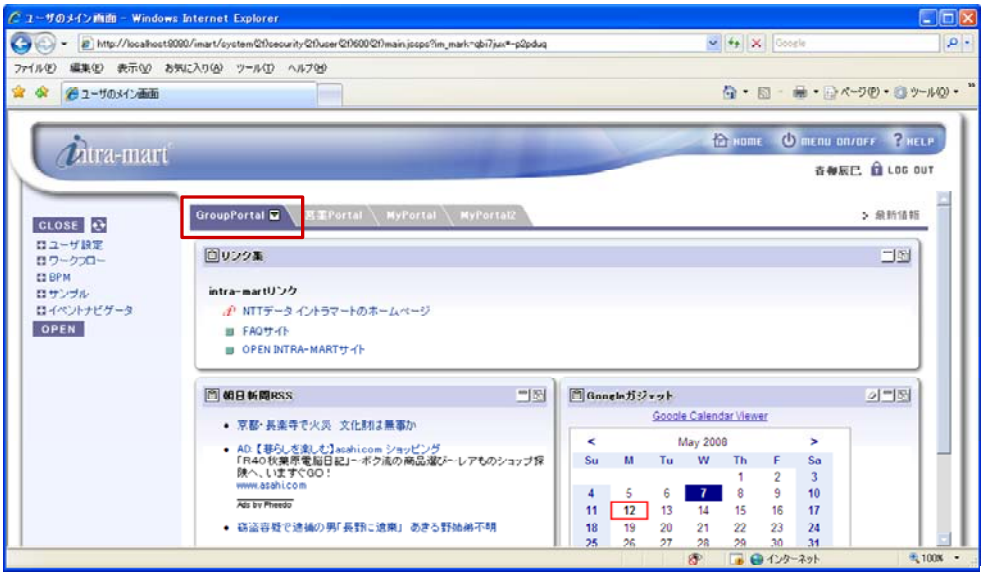
<ポートレット編集画面>

3 削除処理が終わるとポートレット一覧画面に戻ります。

<削除されているポートレットの一覧>

1.4 グループポータル管理

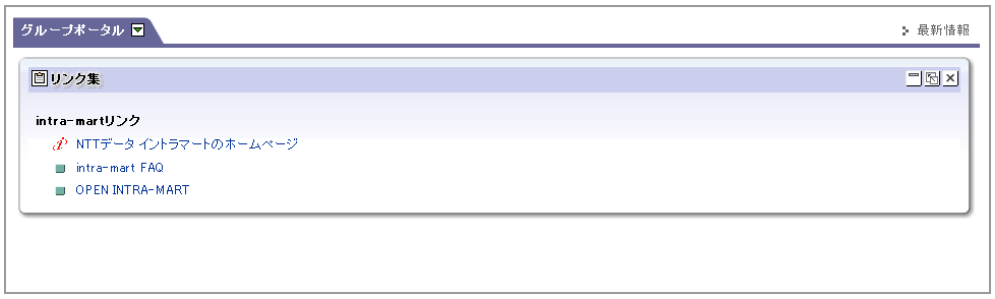
グループポータルは、基本的に全ログイングループのユーザに表示されます。作成後、組織・役職、パブリックグループ、ロールなどのアクセス権限を設定することで、表示範囲を任意に制限することができます。なお、グループポータルは、ログイングループユーザのintra-martのホーム画面上に表示されます。



<ホーム画面>

1.4.1 グループポータルの管理

グループポータルの管理は、メニューの［ポータル］－［グループポータル］をクリックして表示される、グループポータル画面で行います。初期状態では、グループポータルにあらかじめ登録されているintra-martのリンク集が表示されます。



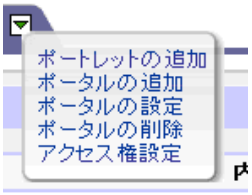
<グループポータル初期画面>

ポータル内のレイアウトの変更や、ポートレットの操作は、グループポータルの画面上で、簡単に行うことが出来ます。また、変更は即座に反映されます。
以下にポータル画面を操作する上で必要な、画面上の各部の名称を説明します。

<グループポータル画面>

タブ

ポータルの選択や、順序の入れ替えを行います。また、矢印アイコンをクリックして表示されるコンテキストメニューの項目を選択して、ポータルの編集などの各操作を行います。



<コンテキストメニュー>

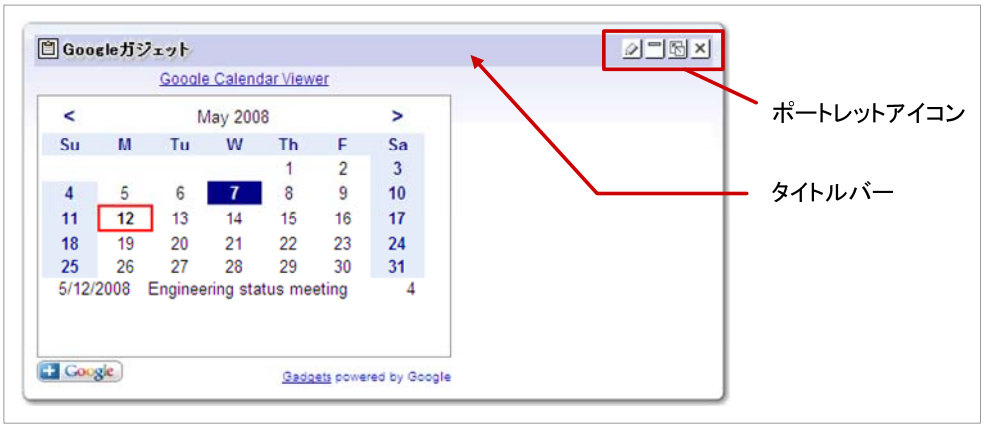
最新情報

ポータル画面を再表示します。
その際、キャッシュを利用しているポートレットも、キャッシュ情報をクリアして最新の状態が表示されます。

全て最小化
全て最小化解除

全てのポートレットを一時的に最小化および最小化の解除をします。
このコマンドによる最小化情報はセッションに保存されませんので、ログインしなおしてから画面を再表示した場合、最小化情報は解除されます。

- 公開されたポートレットによっては、一時的に応答がない状態となる場合があり、Internet Explorerではその場合、ポータル画面自体が利用できなくなってしまいます。(ポートレットが1つも表示されない場合、この可能性があります。)
  その場合は、全て最小化を行うことで正常に表示されますので、該当のポートレットを削除するようにして下さい。
- グループ管理者が登録したポートレット(グループポータル、グローバルポータル)の削除はグループ管理者しか行えませんので、一般ユーザにポータルが公開されている場合はグループ管理者が作業を行うようにしてください。



<ポートレット>

タイトルバー

ポートレットのタイトルが表示される(*)場所で、ポートレットの移動時など、ここをドラッグして操作します。

ポートレットアイコン

ポートレットのモードや、状態を切り替えます。なお、表示されるアイコンは、ポートレットの状態や権限によって変わります。

【モードアイコン】

ポートレットがサポートしているモードのみが表示され、現在のモードアイコンは非表示になります。

表示モード

ポートレットを表示モードに変更します。ポートレットの初期状態です。

編集モード

ポートレットを編集モードに変更します。ポートレットの簡単な設定を行います。

ヘルプモード

ポートレットの説明モードに変更します。

【状態アイコン】

最小化

ポートレットが最小化され、タイトルバーだけ表示されます。

※1.4.2.3 ポートレットの最大化、最小化 参照

最小化解除

最小化から戻ります。

最大化

ポートレットが最大化され、他のポートレットは非表示になります。

※1.4.2.3 ポートレットの最大化、最小化 参照

最大化解除

最大化から戻ります。

削除

ポートレットを削除します。削除アイコンは、ユーザが登録したポートレットのみ表示されます。

※1.4.3.5 ポートレットの削除参照

- ポートレットの設定により、タイトルを使用しないとした場合、タイトルおよび左上のポートレットアイコンは表示されません。

1.4.2 画面上の操作

ポータルの画面上で、タブの順序の入れ替えやポートレットの配置の変更、またポートレットの移動やコピーなどを行うことが出来ます。

1.4.2.1 ポータルの切替え

表示したいポータルのタブをクリックすることにより、そのポータルが選択されます。

<ポータルの切替え説明>

1.4.2.2 ポータル(タブ)の順序の入れ替え

ポータルのタブをドラッグ＆ドロップすることにより、利用目的に合わせてポータルの順序を入れ替えることが出来ます。なお、ここで設定した順序は、ユーザのホーム画面に反映されます。

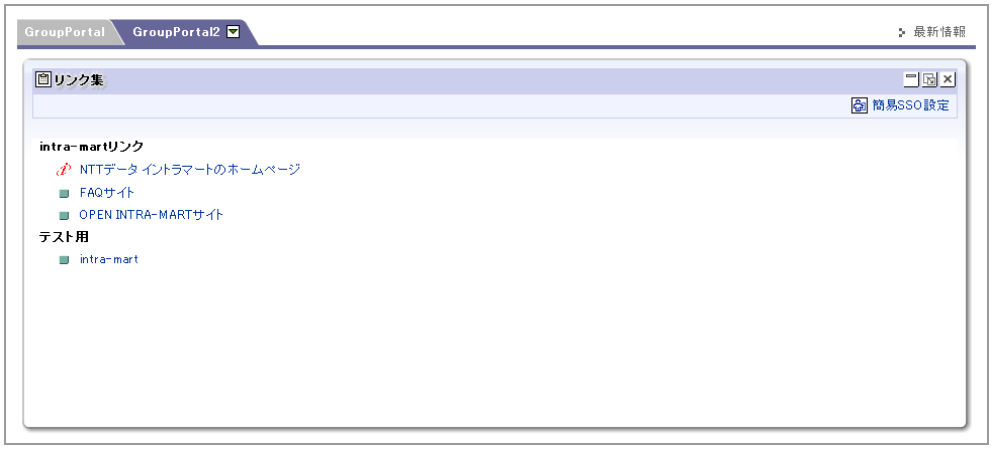
<ポータル(タブ)の順序の入れ替え説明>

1.4.2.3 ポートレットの最大化、最小化

ポートレットの最小化アイコンをクリックすると、そのポートレットはタイトルバーのみの表示となります。最小化はその状態が保存されますので、再表示をおこなっても最小化のままの表示となりますが、ここで設定した状態は、ユーザのホーム画面には反映されません。ここでは、グループ管理者がポートレットを最小化した時の表示イメージを確認することを目的としています。
なお、最小化したポートレットは、最小化解除アイコンで最小化前の状態にもどります。

<ポートレットの最小化>

また、ポートレットの最大化アイコンをクリックすることにより、他のポートレットは表示されなくなり、そのポートレットが最大表示になります。最大化前の状態に戻るには、最大化解除アイコンをクリックします。なお、最大化は保存されませんので、ポートレットの最大化を実施後、再表示を行うと初期サイズに戻ります。



<ポートレットの最大化>

1.4.2.4 ポートレットの移動

ポートレットのタイトルバーをドラッグ＆ドロップすることによって、ページ内で表示位置を変更することができます。変更した表示位置は保存されますので、再表示をおこなっても変更した表示位置で表示されます。

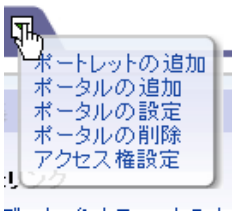
<ポートレットの表示位置変更>

また、ポートレットを、別のグループポータルのタブにドラッグ＆ドロップすることにより、ポータルを越えて別のポータルにポートレットの移動を行うことが出来ます。

<ポートレットの移動>

1.4.3 ポータルの編集

ポータルのタブにある矢印をクリックして表示される、コンテキストメニューの項目を選択して、操作を行います。



<コンテキストメニュー>

ポートレットの追加	選択されているポータルにポートレットを追加します。 ※1.4.3.4 ポートレットの登録　参照
ポータルの追加	グループポータルを追加します。 ※1.4.3.1 ポータルの作成　参照
ポータルの設定	選択されているポータルの編集を行います。 ※1.4.3.2 ポータルの設定変更　参照
ポータルの削除	選択されているポータルの削除を行います。 ※1.4.3.3 ポータルの削除　参照
アクセス権設定	選択されているポータルのアクセス権の設定を行います。 ※1.4.4 アクセス権の設定　参照

1.4.3.1 ポータルの作成

コンテキストメニューの「ポータルの追加」を選択して、新しいポータルを作成します。グループポータルは目的に応じて複数作成することが出来ます。

1 コンテキストメニューからポータルの追加をクリックします。ポータルの名称や、公開フラグ、配置場所、ポートレットのレイアウトを選択する画面が表示されます。

<ポータルの作成>

ロケール	ポータルを作成する時は、登録されているロケールすべてについてポータルの名称を登録しなければなりません。 ここで、まずは、これから登録するポータル名のロケールを選択します。
名称(必須)(国際)	ポータルの名称を登録します。ここで設定した内容が、ポータル(タブ)の名称になります。
公開フラグ	「公開」を選択すると、ログイングループのユーザにポータルが公開されます。
配置	「公開フラグ」の項目で「公開」を選択した場合の、ポータルのタブの位置を設定します。同じグループ内のユーザのimartホーム画面において、公開されたポータルを表示する際に、設定した内容が反映されます。 **ユーザポータルの左に配置する。** 同じログイングループ内のユーザが作成したポータルよりも左側に表示されます。 **ユーザポータルの右に配置する。** 同じログイングループ内のユーザが作成したポータルよりも右側に表示されます。
レイアウト	ポータル画面で配置するポートレットのレイアウトを設定します。

2 値を設定して、[登録]をクリックします。グループポータル画面に遷移し、選択したポータルの右隣に、設定した名称でタブが追加されます。

<新規ポータル画面>

- 追加される位置は、配置項目で設定した値に基づいて自動的に調整されます。

1.4.3.2 ポータルの設定変更

作成したポータルは、コンテキストメニューの「ポータルの設定」をクリックして表示されるポータル編集画面で、設定の変更を行うことができます。

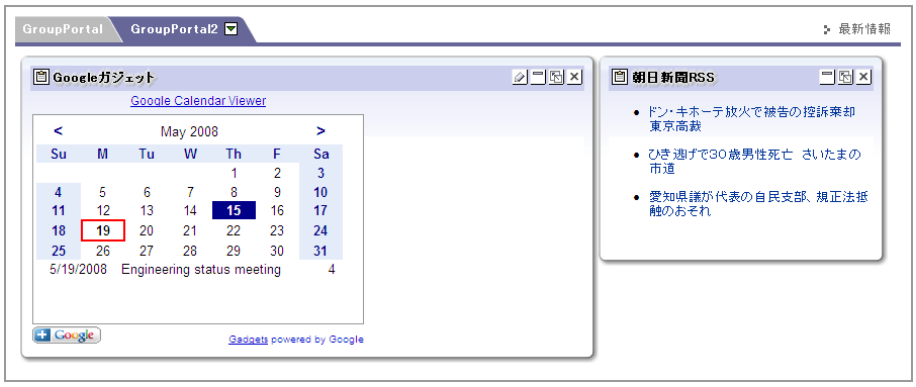
1 コンテキストメニューからポータルの設定をクリックします。

<ポータルの設定変更>

2 表示されるポータル編集画面で該当する項目を変更します。

<ポータルの設定変更>

3 ［更新］をクリックします。ホーム画面に遷移し、変更した内容が反映されます。

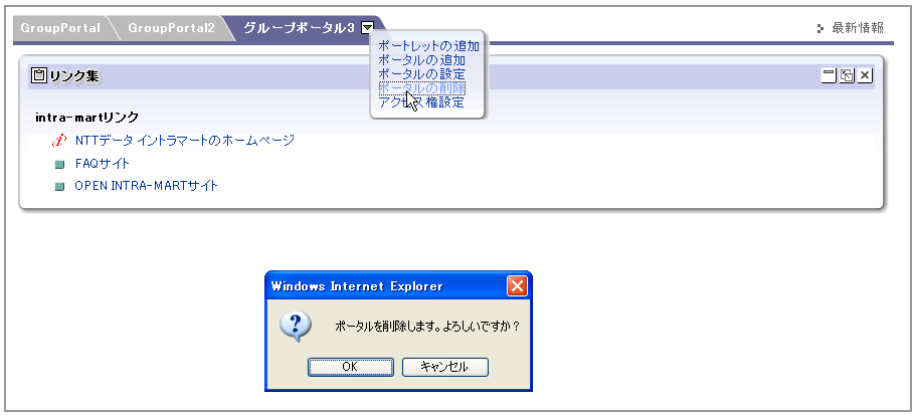


<グループポータル設定変更後の画面>

1.4.3.3 ポータルの削除

コンテキストメニューの「ポータルの削除」をクリックするとポータルの削除ができます。これを行うことによりそのポータルに表示されていたポートレットもあわせて削除されます。

1 コンテキストメニューからポータルの削除をクリックします。



<ポータルの削除>

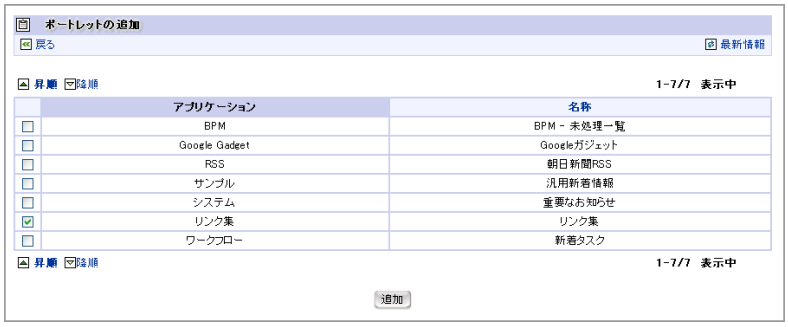
2 確認用のウィンドウが表示されますので、［OK］をクリックします。選択していたポータルが削除され、削除後は一番左のポータルが選択されます。

<ポータルの削除後の画面>

1.4.3.4 ポートレットの登録

コンテキストメニューの「ポートレットの追加」をクリックして、ポータル画面にポートレットの追加を行います。

1 コンテキストメニューからポータルの追加をクリックし、ポートレットの追加画面で追加するポートレットを選択します。ポートレットは複数選択して登録することができます。



<ポートレットの登録>

2 [追加]をクリックすると、選択したグループポータル画面に遷移してポートレットが追加されます。

<ポートレットの登録後の画面>

- ポートレットによっては、グループ管理者と、ユーザで、表示や動作が異なりますので、注意してください。

1.4.3.5 ポートレットの削除

ポートレットの削除アイコンをクリックするとポートレットの削除ができます。

1 削除を行うポートレットの削除アイコンをクリックします。

<グループポータル画面>

2 ポートレットが削除されます。

<ポートレット削除後の画面>

- ポートレットを削除する際に、確認メッセージは表示されません。また元に戻すこともできませんが、ポートレットの追加を行うことによって、簡単に再登録を行うことができます。

1.4.4 アクセス権の設定

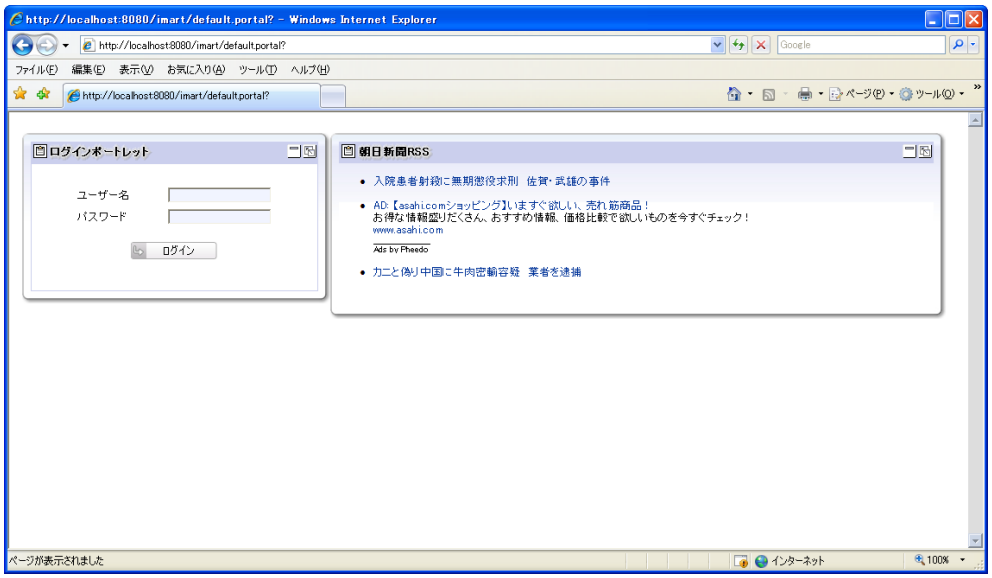
公開フラグが設定されているグループポータルは、全ログイングループのユーザにポータルが公開されますが、グループポータル作成後に、組織・役職、パブリックグループ、ロールなどのアクセス権限を設定することにより表示範囲を任意に制限することができます。

グループポータルにアクセス権の設定や削除をするには、コンテキストメニューからアクセス権設定をクリックして表示される、アクセス権設定画面で行います。

アクセス権の設定方法は、ポートレットのアクセス権の設定方法と同じです。
「1.3.3 ポートレットアクセス権の設定」を参照してください。

1.5 グローバルポータル

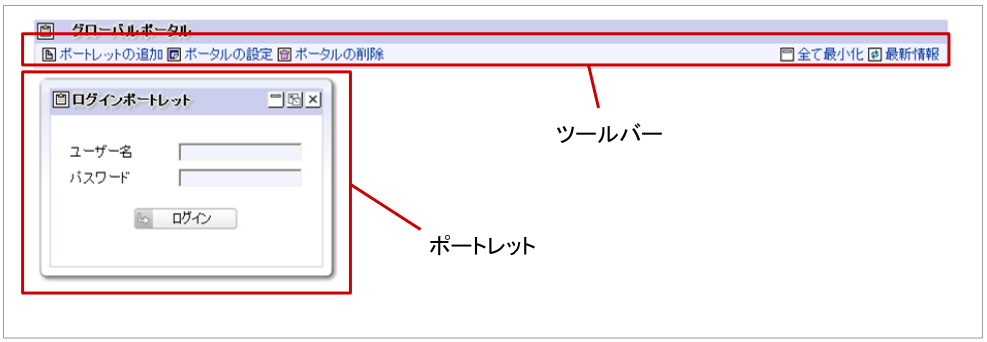
グローバルポータルは、ログイン画面を利用して情報を表示させることができるポータルです。
標準のログイン画面は表示されなくなる為、ログインするためには、用意されているログイン用のポートレットをグローバルポータルに配置するようにしてください。



<グローバルポータル画面>

1.5.1 グローバルポータルの管理

グローバルポータルの操作は、左メニューの［グローバルポータル］をクリックして表示される、グローバルポータル画面で行います。この画面上で、簡単にグローバルポータルのレイアウトの変更や、ポートレットの操作を行うことが出来ます。また、変更は即座に反映されます。
以下にポータル画面を操作する上で必要な、画面上の各部の名称を説明します。



<グローバルポータル編集画面>

ツールバー	ポートレットの追加、ポータルの設定、ポータルの削除を選択して、各操作を行います。各操作の内容は「1.5.3ポータルの編集」以降で説明します。 **最新情報** 最新情報をクリックすると、ポータル画面が再表示されます。 **全て最小化・全て最小化解除** 全てのポートレットを一時的に最小化および最小化の解除をします。
ポートレット	こちらの内容はグループポータルに記載されている内容と同じになりますので、「1.4.1グループポータルの管理」の＜ポートレット＞を参照してください。

1.5.2 画面上の操作

ポータルの画面上で、ポートレットの最大化、最小化や、配置の変更を行うことが出来ます。

1.5.2.1 ポートレットの最大化、最小化

こちらの内容はグループポータルのポートレットの最大化、最小化と同じになります（*）ので、「1.4.2.3 ポートレットの最大化、最小化」を参照してください。

- グローバルポータルは、最小化の状態も、最大化と同じように保存されませんので、再表示を行うと、初期サイズに戻ります。

1.5.2.2 ポートレットの移動

こちらの内容はグループポータルのポートレットの移動と同じになりますので、「1.4.2.4 ポートレットの移動」を参照してください。

1.5.3 ポータルの編集

グローバルポータル画面の、ツールバーにあるメニューを選択して、操作を行います。

<グローバルポータル編集画面>

ポートレットの追加	ポータル画面にポートレットを追加します。 ※1.5.3.1 ポートレットの登録 参照
ポータルの設定	ポータルの編集を行います。 ※1.5.3.3 ポータルの設定変更 参照
ポータルの削除	ポータルの削除を行います。 ※1.5.3.4 ポータルの削除 参照

1.5.3.1 ポートレットの登録

ツールバーの「ポートレットの追加」をクリックして、ポータル画面にポートレットの追加を行います。初期のグローバルポータル時には、ポートレットを登録することにより、グローバルポータルとして登録されたことになります。

なお、ポートレット登録の手順はグループポータルと同じになりますので、「1.4.3.4 ポートレットの登録」を参照してください。

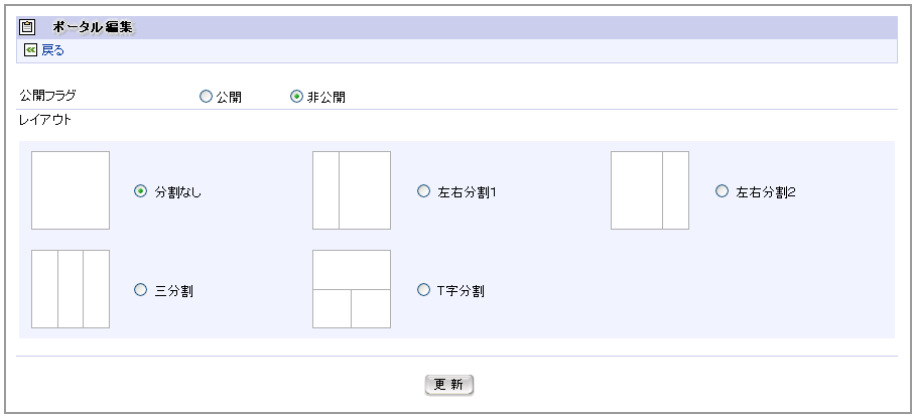
1.5.3.2 ポートレットの削除

こちらの内容はグループポータルのポートレットの削除と同じになりますので、「1.4.3.5 ポートレットの削除」を参照してください。

1.5.3.3 ポータルの設定変更

ツールバーの「ポータルの設定」をクリックして、表示されるポータル編集画面で、ポータルの設定を変更することができます。

1 ツールバーのポータルの設定をクリックすると、ポータル編集画面が表示されます。



<ポータルの設定変更>

公開フラグ	「公開」を選択すると、ユーザのログイン画面でグローバルポータルが表示されます。
レイアウト	ポータル画面で配置するポートレットのレイアウトを設定します。

2 該当する項目の内容を変更します。

<ポータルの設定変更>

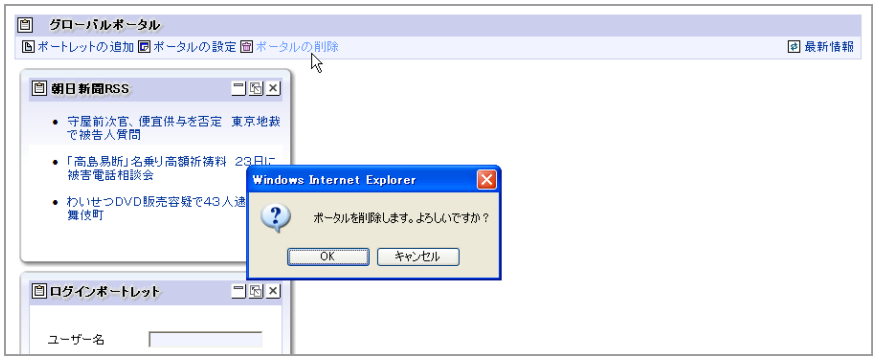
3 [更新]をクリックします。グローバルポータル画面に遷移し、変更した内容が反映されます。

<グローバルポータル設定変更後の画面>

1.5.3.4 ポータルの削除

ツールバーの「ポータルの削除」をクリックするとポータルの削除ができます。これを行うことによりそのポータルに表示されていたポートレットもあわせて削除されます。

1 ツールバーのポータルの削除をクリックします。



<グローバルポータル画面>

2 確認用のウィンドウが表示されますので、[OK]をクリックします。ポータルが削除され、初期のグローバルポータル画面が表示されます。ユーザのログイン画面には、規定のログイン画面が表示されます。

<ポータル削除後の画面>

1.6 ポートレットの利用

intra-martには、標準でそのまま利用可能なポートレットがいくつか用意されています。
また、ワークフローモジュールやWebMailなどのintra-martアプリケーションの一部には、ポートレットがあらかじめ用意されているものがあります。
この章では、標準で提供されるポートレットのうち、ユーザによって設定が必要なポートレットの設定方法について説明します。

■スタンダード版で提供されるポートレット

ポートレット名称	アプリケーション	推奨レイアウト	表示先(*)	備考
リンク集				簡易SSO設定が行えます。(*)
ログインポートレット			グローバルポータル	
朝日新聞RSS				
重要なお知らせ			ユーザポータル グループポータル	パスワード管理の情報を表示します。
Googleガジェット				

■アドバンスト版で追加されるポートレット

ポートレット名称	アプリケーション	推奨レイアウト	表示先(*)	備考
新着タスク	ワークフロー	2列以下(幅広の領域)	ユーザポータル、グループポータル	

■エンタープライズ for BPM版で追加されるポートレット

ポートレット名称	アプリケーション	推奨レイアウト	表示先(*)	備考
BPM - 未処理一覧	BPM	2列以下(幅広の領域)	ユーザポータル、グループポータル	

■intra-martアプリケーションに付属のポートレット

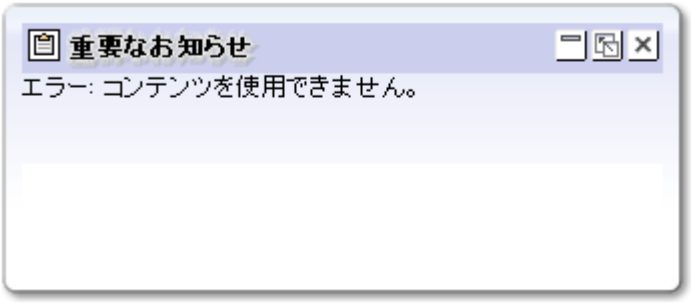
ポートレット名称	アプリケーション	推奨レイアウト	表示先(*)	備考
今週の予定	スタートパック	2列以下(幅広の領域)		
今日の予定	スタートパック			
新着ToDo一覧	スタートパック			
新着お気に入り情報	スタートパック			
新着配信情報	スタートパック	2列以下(幅広の領域)		
新着コミュニティ情報	スタートパック			

最新見積一覧	営業支援			
最新受注一覧	営業支援			
新着営業日報一覧	営業支援／スタートパック			
新着上司コメント	営業支援／スタートパック			
新着メール	WebMail			

- 表示先：表示先のポータルが決められているポートレットの場合の、表示先のポータル種別（ユーザポータル、グループポータル、グローバルポータル）を表します。
- 簡易SSO設定：簡易SSO設定は、ログインしたユーザごとの設定を行うため、グループ管理者は設定しないでください。

1.6.1 ポートレットのエラーについて

ポートレットはポータルと協調して動作しますが、独立したアプリケーションです。 ポートレットの仕様や設定によって、ポータル画面とは別にエラーが発生することがあります。
ポートレットでエラーが発生した場合、ポートレットウィンドウに以下のようなメッセージが表示されます。このような場合は、ポートレットの設定を確認してください。



<ポートレットエラー画面>

- ご利用の環境によっては、メッセージが英語で表示される場合があります。その場合は、intra-martサーバの稼動しているOSのロケールを、システム管理者に問い合わせるようにしてください。

1.6.2 Googleガジェットポートレット

Googleガジェットポートレットは、Googleが提供するガジェットを表示させることができます。ポートレットの編集アイコンをクリックして表示される、コード設定画面にてGoogleガジェットコードの設定を行います。

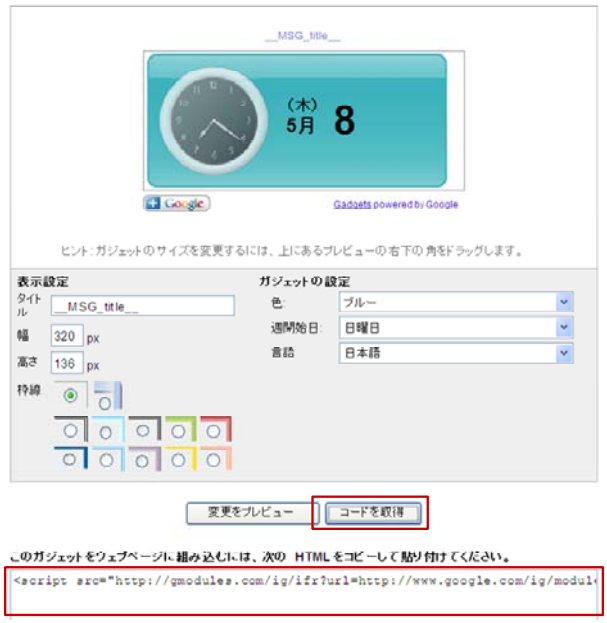
1 Googleガジェットポートレットの編集アイコンをクリックすると、ポートレットの編集画面が表示されます。

<Googleガジェット編集画面>

2 「Googleガジェット一覧」リンクをクリックすると、「ウェブページ用Googleガジェット」画面が表示されます。ここから設定したいガジェットの[自分のウェブページに追加]ボタンをクリックします。

<ウェブページ用Googleガジェット画面>

3 選択したガジェットの詳細設定画面で、カスタマイズ等を行い、[コード取得]ボタンをクリックして、コードを生成させます。



<詳細設定画面>

4 生成されたコードをクリップボードにコピーして、ポートレットの編集画面のGoogleガジェットコードにペーストし、[設定]ボタンをクリックします。

<Googleガジェット編集画面>

5 ポートレットの表示モードに切り替わり、設定したガジェットが表示されます(*)。

<Googleガジェット表示画面>

- InternetExplorer6.xでは、Googleガジェットがうまく表示されない場合があります。その場合、画面を右クリックして表示されるコンテキストメニューから、「最新の情報に更新」をクリックして画面を更新させてください。

1.6.3 リンク集ポートレット

リンク集ポートレットを利用するためには、あらかじめリンク集の設定が必要です。
リンク集の設定をするためには、「1.7 リンク集の作成」を参照してください。

また、リンク集ポートレットの簡易SSO設定は、ログインしたユーザごとの設定を行うため、グループ管理者は設定しないでください

<リンク集ポートレット>

1.6.4 メニューリンクポートレット

メニューリンクポートレットを利用するためには、あらかじめメニューリンクセットの設定が必要です。
また、メニューリンクセット編集画面よりポートレットの登録が行えます。
メニューリンクセットの設定をするためには、「1.8 メニューリンクの作成」を参照してください。

1.7 リンク集の作成

1.7.1 リンク集の作成

ここで設定したリンク集は、intra-martに用意されている「リンク集ポートレット」に表示されます。「リンク集ポートレット」を利用する前には、この設定をしておかなければなりません。
初期データインポート後は、Intra-martの初期データが登録されています。

1 ［リンク集］をクリックします。
画面に、すでに登録されているカテゴリが表示されています。

2 下部のリンク集のカテゴリとソート番号を入力し、［登録］ボタンをクリックします。

<リンク集のカテゴリの登録>

3 左のツリーから、リンク集を登録したいカテゴリをクリックし、右画面から［新規登録］クリックします。

<カテゴリの編集アイコンをクリックする>

4 リンク集の情報を登録して[登録]ボタンをクリックします。

<リンク集の登録>

カテゴリ(必須)	登録するカテゴリを選択します。
リンク名(必須)	この名称がリンク集に表示されます。
URL(必須)	リンクするサイトのURLを入力します。
ソート番号	表示順をきめるソート番号を入力します。
表示設定	リンク先を開く際に同一ウィンドウで表示するか、別ウィンドウで表示するか選択します。
[簡易SSO設定]ボタン	[簡易SSOパラメータ設定]画面が表示されます。[簡易SSOパラメータ設定]画面では、サイトに自動ログインするパラメータを設定します。パラメータを設定しない場合は、自動ログインは行われません。 新規登録時は非活性で、リンク登録後に設定できます。
説明	リンクの説明を入力します。

- リンク集をグローバルポータルに配置した場合は、表示設定で「メインページ」を選択した場合でも、新規ウィンドウで表示されます。

1.7.2 簡易SSOパラメータ設定

リンク先のサイトに自動ログインするためのパラメータを設定します。アカウントおよびパスワードは必ず設定します。

<簡易SSOパラメータ設定>

属性追加	属性を追加します。
属性削除	チェックボックスにチェックされている属性を削除します。
チェックボックス	削除する属性のチェックボックスにチェックをつけます。
ラベル	ラベルを入力します。「アカウント」と「パスワード」は固定のラベルになります。
名前	サイトに渡す情報を指定します。アカウントとパスワードの場合、サイトの入力フォームで指定されている「name」の値を入力してください。
値	サイトに渡す値を入力します。「ユーザ設定」のチェックがついている場合、値は入力できません。
ユーザ設定	ユーザが設定を行う属性にチェックをつけます。
[登録]ボタン	入力した内容で簡易SSO設定を登録します。[登録]ボタンは、新規登録時のみ表示されます。
[更新]ボタン	入力した内容で簡易SSO設定を登録します。[更新]ボタンは更新時のみ表示されます。
[削除]ボタン	現在開いている簡易SSO設定を削除します。[削除]ボタンは更新時のみ表示されます。

Column

リンク集で表示されるアイコンについて

・リンク先からFavicon.icoという各サイト独自のアイコンを取得して表示しています。
・アイコンまたはブラウザによっては、正しく表示できない場合があります。
・アイコンを取得するまでに時間がかかる場合、一時的に画像切れの表示になることがあります。
・Favicon.icoを非表示にするには、下記の設定ファイルに定義されいる”displayFavicon”属性の値をfalseに変更します。

WEB-INF/classes/PortalCommonConfig.properties

1.8 メニューリンクの作成

メニューリンクは、任意のintra-martのメニューをポータル画面（グループポータル）に表示するポートレットです。設定は、グループ管理者が行います。

- メニューリンクはグループポータルにのみ設定してください。

1 [メニューリンク]をクリックし、[新規登録]をクリックします。
画面に、すでに登録されているメニューリンクが表示されています。

2 <メニューリンク一覧>メニューリンクの名称を入力し、表示させたいメニューを選択します。メニュー一覧には一部のメニューしか表示されていませんので、<< < > >> アイコンをクリックして、メニューを表示します。選択後には、[登録]ボタンをクリックします。

<メニューの選択>

3 選択したメニュー一覧が表示されたら、表示する順序を[ソート]で設定し、[ポートレットとして登録]をクリックします。

<カテゴリの編集アイコンをクリックする>

4 ポートレットとして登録をします。

表示された画面で、ポートレットの情報を登録して、［登録］ボタンをクリックします。

<ポートレットとしてページを登録する>

アプリケーション(国際)	ポートレットのもとになるアプリケーション名を入力します。ここでは、メニューリンクと入力します。
名称(必須)(国際)	ポートレットの名称を入力します。この名称がポータルの設定画面に表示されます。
ページ種別(必須)	「メニューリンク」が選択されます。変更はできません。
メニューリンクセット	作成したメニューリンクセットの名称が表示されます。変更はできません。

その他の項目については、「1.3.2 ポートレット新規登録」を参照してください。

intra-mart WebPlatform/AppFramework Ver.7.0

2012/03/26 第６版

ポータル グループ管理者操作ガイド

株式会社 NTT データ イントラマート
〒107-0052 東京都港区赤坂 2-17-22 赤坂ツインタワー本館 3 階
TEL（03）5549-2821 FAX（03）5549-2816
E-mail ： info@intra-mart.jp
ホームページ ： http://www.intra-mart.jp
Copyright 2000-2012 株式会社 NTT データ イントラマート All rights Reserved.

※本マニュアルに記載されている社名および商品名は、一般に各社の商標および登録商標です。